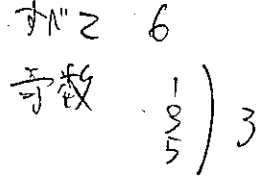


確率①

【場合の数と確率】

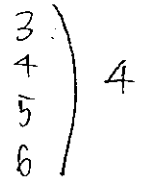
1 1個のさいころを投げるとき、次の場合の確率を求めよ。

(1) 奇数の目が出る。



$$\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$$

(2) 3以上の目が出る。

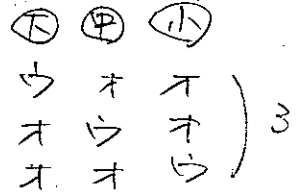


$$\frac{4}{6} = \frac{2}{3}$$

2 3枚の硬貨を同時に投げるとき、そのうち1枚だけ裏が出る確率を求めよ。

すなわち  $2 \cdot 2 \cdot 2 = 8$

1枚だけウラ

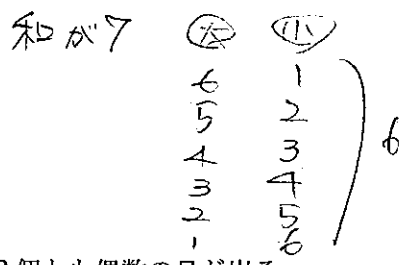


$$\frac{3}{8}$$

3 2個のさいころを同時に投げるとき、次の場合の確率を求めよ。

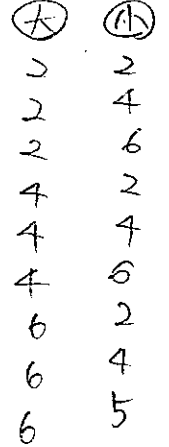
(1) 目の和が7になる。

すなわち  $6 \cdot 6 = 36$



$$\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$$

(2) 2個とも偶数の目が出る。

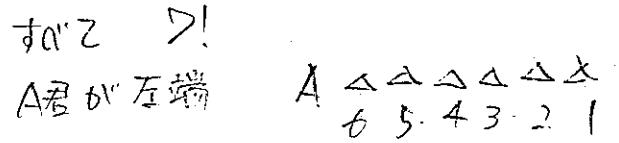


$$\frac{9}{36} = \frac{1}{4}$$

【順列と確率】

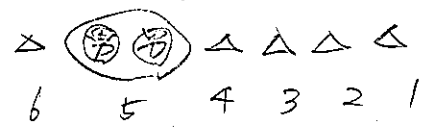
4 男子2人、女子5人がくじ引きで順番を決めて横1列に並ぶとき、次の場合の確率を求めよ。

(1) 男子のA君が左端に並ぶ。



$$\frac{6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1}{7!} = \frac{1}{7}$$

(2) 男子2人が隣り合う。



男の並び方  $(2-1) \times 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1$

$$\frac{2 \cdot 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2}{7!} = \frac{2}{7}$$

【組合せと確率】

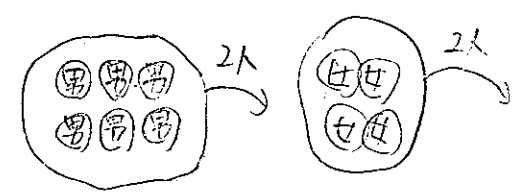
5 男子6人、女子4人の合計10人の中から抽選で4人を選ぶとき、次のように選ばれる確率を求めよ。

(1) 男子が2人、女子が2人

すなわち  ${}_{10}C_4 = \frac{10 \cdot 9 \cdot 8 \cdot 7}{4 \cdot 3 \cdot 2} = 210$

男2人、女2人  ${}_6C_2 \times {}_4C_2 = \frac{6 \cdot 5}{2} \times \frac{4 \cdot 3}{2} = 90$

$$\frac{90}{210} = \frac{3}{7}$$



(2) 全員が女子

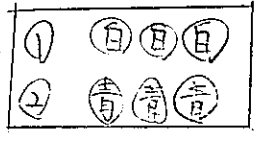
${}_4C_4 = 1$

$$\frac{1}{210}$$

【確率の加法定理】

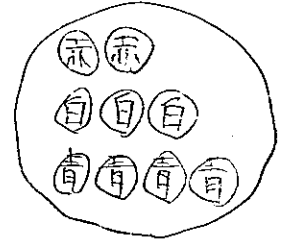
6 赤玉2個、白玉3個、青玉4個の入った袋から、3個の玉を同時に取り出すとき、3個とも同じ色である確率を求めよ。

すなわち  ${}_9C_3 = \frac{9 \cdot 8 \cdot 7}{3 \cdot 2} = 84$



3個とも同じ色

- ① 3個とも白  ${}_3C_3 = 1$
- ② 3個とも青  ${}_4C_3 = 4$



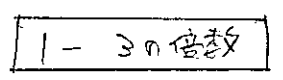
$$\frac{1+4}{84} = \frac{5}{84}$$

【余事象】

7 1から200までの200枚の番号札から1枚引くとき、3の倍数でない番号を引く確率を求めよ。

すなわち 200  
3の倍数 66

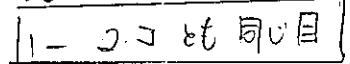
$$\frac{66}{200} = \frac{33}{100}$$



$$1 - \frac{66}{200} = 1 - \frac{33}{100} = \frac{67}{100}$$

8 2個のさいころを同時に投げるとき、次の場合の確率を求めよ。

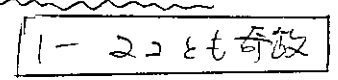
(1) 異なる目が出る。



すなわち  $6 \cdot 6 = 36$   
2個とも同じ目 6

$$1 - \frac{6}{36} = 1 - \frac{1}{6} = \frac{5}{6}$$

(2) 偶数の目が少なくとも1つ出る確率。



2個とも奇数  $3 \cdot 3 = 9$

$$1 - \frac{9}{36} = 1 - \frac{1}{4} = \frac{3}{4}$$

確率②

【和事象】

9 1から50までの50枚の番号札から1枚引くとき、その番号が次のような数である確率を求めよ。

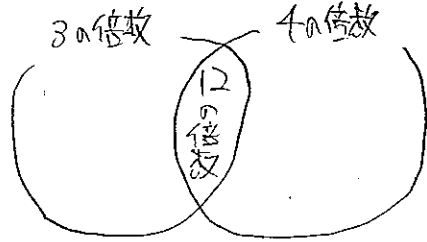
(1) 3の倍数または4の倍数

すなわち 50

3の倍数 16

4の倍数 12

12の倍数 4



$$\therefore \frac{16+12-4}{50} = \frac{24}{50} = \frac{12}{25}$$

(2) 3の倍数でも4の倍数でもない数

(1) Eノ

$$1 - \frac{12}{25} = \frac{13}{25}$$

【独立試行】

10 2枚の硬貨と1個のさいころを投げるとき、次の場合の確率を求めよ。

(1) 硬貨は2枚とも表が出て、さいころは偶数の目が出る。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

オ オ 奇数

$$\frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{3}{6} = \frac{1}{8}$$

(2) 硬貨は1枚だけ表が出て、さいころは2以下の目が出る。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① オウ 2以下  $\frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{2}{6} = \frac{1}{12}$

② ウオ 2以下  $\frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{2}{6} = \frac{1}{12}$

$$\therefore \frac{1}{12} + \frac{1}{12} = \frac{2}{12} = \frac{1}{6}$$

11 1枚の硬貨を3回続けて投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 3回とも表が出る確率

$$\frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} = \frac{1}{8}$$

(2) 少なくとも1回は裏が出る確率

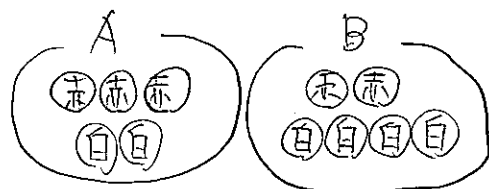
1 - 3回表

(1) Ey  $1 - \frac{1}{8} = \frac{7}{8}$

12 Aの袋には赤玉3個と白玉2個、Bの袋には赤玉2個と白玉4個が入っている。A、Bの袋から1個ずつ玉を取り出すとき、次の確率を求めよ。

(1) Aから赤玉、Bから白玉を取り出す確率

$$\frac{3}{5} \times \frac{4}{6} = \frac{2}{5}$$



(2) A、Bから取り出す玉の色が異なる確率

① Aから赤玉、Bから白玉

$$\frac{3}{5} \times \frac{4}{6} = \frac{12}{30}$$

② Aから白玉、Bから赤玉

$$\frac{2}{5} \times \frac{2}{6} = \frac{4}{30}$$

$$\therefore \frac{12}{30} + \frac{4}{30} = \frac{16}{30} = \frac{8}{15}$$

【反復試行】

反復

13 1個のさいころを4回投げるとき、次の場合の確率を求めよ。

(1) 1の目がちょうど3回出る。

1の目が出る  $\frac{1}{6}$   
それ以外  $\frac{5}{6}$

$$000 \times 4C_3$$

$$\therefore 4C_3 \left(\frac{1}{6}\right)^3 \frac{5}{6} = 4C_1 \left(\frac{1}{6}\right)^3 \frac{5}{6} = \frac{5}{324}$$

(2) 5以上の目がちょうど2回出る。

5以上の目が出る  $\frac{2}{6}$   
それ以外が出る  $\frac{4}{6}$

$$00 \times \times 4C_2$$

$$\therefore 4C_2 \left(\frac{2}{6}\right)^2 \left(\frac{4}{6}\right)^2 = \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} \left(\frac{1}{3}\right)^2 \left(\frac{2}{3}\right)^2 = \frac{8}{27}$$

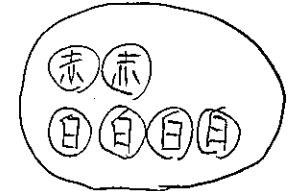
14 赤玉2個と白玉4個の入った袋から玉を1個取り出し、色を見てからもとにもどす。この試行を5回行うとき、赤玉が4回以上出る確率を求めよ。

反復

① 赤が4回  
② 赤が5回

① 赤が出る  $\frac{2}{6}$

② 白が出る  $\frac{4}{6}$



$$0000 \times 5C_4$$

① 赤が4回出る

$$5C_4 \left(\frac{2}{6}\right)^4 \frac{4}{6} = 5C_1 \left(\frac{1}{3}\right)^4 \frac{2}{3} = \frac{10}{243}$$

② 赤が5回出る

$$5C_5 \left(\frac{2}{6}\right)^5 = \frac{1}{243}$$

$$00000 5C_5$$

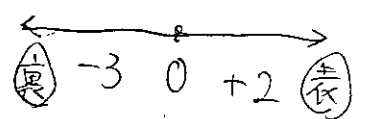
$$\therefore \frac{10}{243} + \frac{1}{243} = \frac{11}{243}$$

15 数直線上を動く点Pが原点の位置にある。1枚の硬貨を投げて、表が出たときはPを正の向きに2だけ進め、裏が出たときはPを負の向きに3だけ進める。硬貨を5回投げ終わったとき、Pが原点にもどっている確率を求めよ。

反復

表が出る回数 r とする

裏が出る回数は 5-r



$$2r + (-3)(5-r) = 0$$

$$2r - 15 + 3r = 0$$

$$r = 3$$

∴ 表は3回出るのT

$$000 \times \times 5C_3$$

表が出る確率  $\frac{1}{2}$

裏が出る確率  $\frac{1}{2}$

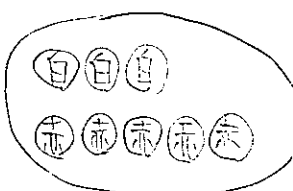
$$5C_3 \left(\frac{1}{2}\right)^3 \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} \cdot \frac{1}{2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 2} = \frac{5}{16}$$

確率③

【乗法定理】

16 赤玉5個と白玉3個の入った袋の中から、まず2個を取り出し、もとに戻さないで続けて1個を取り出すとき、次の確率を求めよ。

(1) 初めの2個がともに赤玉であったとき、次の1個が白である確率

$\frac{5}{8} \cdot \frac{4}{7} \cdot \frac{3}{6}$ 
 $\rightarrow \frac{1}{2}$ 


(2) 初めの2個がともに赤玉で、かつ次の1個が白である確率

$\frac{5}{8} \cdot \frac{4}{7} \cdot \frac{3}{6} = \frac{5}{28}$

17 当たりくじ4本を含む10本のくじを、A、Bの2人が順に1本ずつ引くとき、次の確率を求めよ。ただし、引いたくじはもとにもどさない。

(1) Aが当たり、Bがはずれる確率

$\frac{4}{10} \cdot \frac{6}{9} = \frac{4}{15}$ 

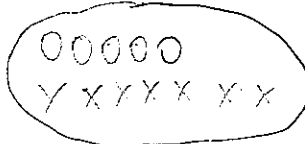

(2) Aがはずれ、Bが当たる確率

$\frac{6}{10} \cdot \frac{4}{9} = \frac{4}{15}$

(3) 2人ともはずれる確率

$\frac{6}{10} \cdot \frac{5}{9} = \frac{1}{3}$

18 当たりくじ5本を含む12本のくじを、A、Bの2人がこの順に1本ずつ引く。ただし、引いたくじはもとにもどさない。このとき、Bが当たる確率を求めよ。

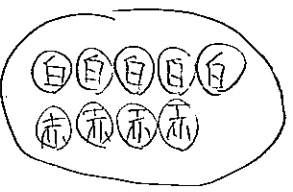


- ① Aがあたり、Bがはずれ
- ② Aがはずれ、Bがあたり

$\frac{5}{12} \cdot \frac{4}{11} = \frac{20}{132}$   
 $\frac{7}{12} \cdot \frac{5}{11} = \frac{35}{132}$   
 $\rightarrow \frac{20}{132} + \frac{35}{132} = \frac{55}{132} = \frac{5}{12}$

【条件付き確率】

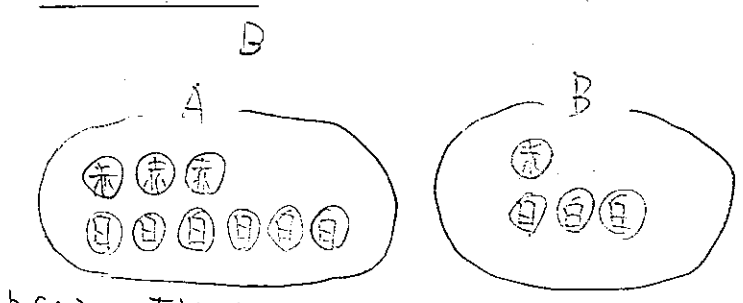
19 白玉5個、赤玉4個が入った袋の中から、もとに戻さないで1個ずつ続けて2回玉を取り出す。2回目の玉が赤であるとき、1回目の玉が赤である確率を求めよ。

$P(A) = \frac{1}{3}$ 


- ① 白 → 赤  $\frac{5}{9} \cdot \frac{4}{8} = \frac{20}{72}$
- ② 赤 → 赤  $\frac{4}{9} \cdot \frac{3}{8} = \frac{12}{72}$

 $\rightarrow P(A) = \frac{20}{72} + \frac{12}{72} = \frac{32}{72}$ 
 $P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} = \frac{\frac{12}{72}}{\frac{32}{72}} = \frac{12}{32} = \frac{3}{8}$

20 袋Aには赤玉3個と白玉6個が入っている。袋Bには赤玉1個と白玉3個が入っている。どちらか1つの袋を選び、その中から1つの玉を取り出す。赤玉が取り出されたとき、それが袋Aである確率を求めよ。

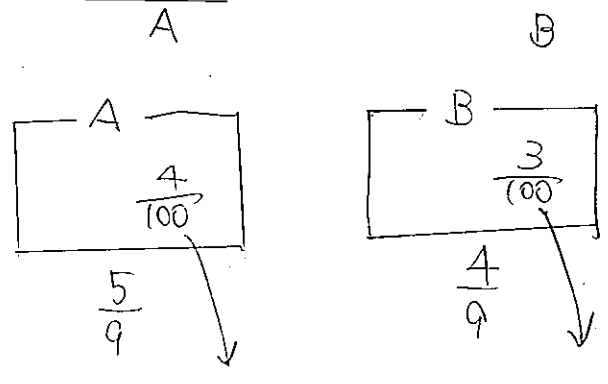


$P(A) = \frac{1}{2}$ 

- ① Aから赤  $\frac{1}{2} \cdot \frac{3}{9} = \frac{1}{6}$
- ② Bから赤  $\frac{1}{2} \cdot \frac{1}{4} = \frac{1}{8}$

 $\rightarrow P(A) = \frac{1}{6} + \frac{1}{8} = \frac{4}{24} + \frac{3}{24} = \frac{7}{24}$ 
 $P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} = \frac{\frac{1}{8}}{\frac{7}{24}} = \frac{1}{6} \cdot \frac{24}{7} = \frac{4}{7}$

21 2つの工場A、Bで、ある製品を5:4の割合で製造している。工場A、Bの不良品の割合はそれぞれ4%、3%である。2つの工場で製造された製品の中から無作為に取り出したものが不良品であったとき、それが工場Aの製品である確率を求めよ。



$P(A) = \frac{20}{900}$ 

- ① Aから不良品  $\frac{5}{9} \cdot \frac{4}{100} = \frac{20}{900}$
- ② Bから不良品  $\frac{4}{9} \cdot \frac{3}{100} = \frac{12}{900}$

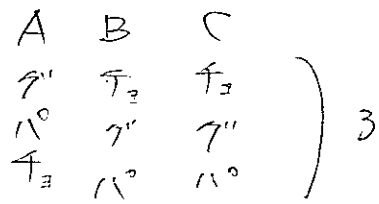
 $\rightarrow P(A) = \frac{20}{900} + \frac{12}{900} = \frac{32}{900}$ 
 $P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} = \frac{\frac{20}{900}}{\frac{32}{900}} = \frac{20}{32} = \frac{5}{8}$

確率④

22 A, B, Cの3人がじゃんけんを1回行うとき、次の確率を求めよ。

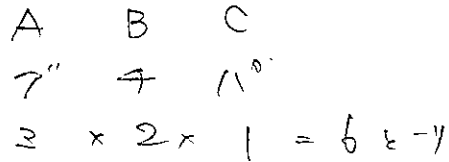
(1) Aだけが勝つ確率

すべて 3・3・3 = 27  
 Aだけが勝つ 3  
 よって  $\frac{3}{27} = \frac{1}{9}$



(2) 全員が違う手を出す確率

$\frac{6}{27} = \frac{2}{9}$



(3) 誰も勝たない、すなわちあいこになる確率

- ① 全員同じ手
- ② 全員違う手

- ① 全員同じ手 3
- ② 全員違う手 (2) より 6

よって  $\frac{3+6}{27} = \frac{1}{3}$

23 3個のさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) すべての目が4以下である確率

すべて 6・6・6  
 4以下 4・4・4  
 よって  $\frac{4 \cdot 4 \cdot 4}{6 \cdot 6 \cdot 6} = \frac{8}{27}$

(2) すべての目が3以下である確率

すべて 6・6・6  
 3以下 3・3・3  
 よって  $\frac{3 \cdot 3 \cdot 3}{6 \cdot 6 \cdot 6} = \frac{1}{8}$

(3) 出る目の最大値が4である確率

(1) (2) より  
 $\frac{8}{27} - \frac{1}{8} = \frac{64}{216} - \frac{27}{216} = \frac{37}{216}$

24 男子4人と女子3人がくじ引きで1列に並ぶとき、次の確率を求めよ。

(1) 男子と女子が交互に並ぶ確率

すべて 7・6・5・4・3・2・1  
 男女交互 男の並び方 女の並び方  
 $(4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1) \times (3 \cdot 2 \cdot 1)$   
 よって  $\frac{4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 \times 3 \cdot 2 \cdot 1}{7 \cdot 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1} = \frac{1}{35}$

(2) 両端に女子が並ぶ確率

4人の並び方  
 $(3 \cdot 2) \times (5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1)$   
 よって  $\frac{3 \cdot 2 \times 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1}{7 \cdot 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1} = \frac{1}{7}$

25 10本のくじがある。そのうち当たりくじは1等1本、2等3本であり、残りはずれくじである。このくじから同時に3本を引くとき、次の確率を求めよ。

(1) 当たりくじを少なくとも1本引く確率

1 - 3本はずれ  
 $1 - \frac{6 \cdot 5 \cdot 4}{10 \cdot 9 \cdot 8} = 1 - \frac{1}{6} = \frac{5}{6}$

(2) 1等、2等、はずれくじをそれぞれ1本ずつ引く確率

$\frac{1 \cdot 3 \cdot 6}{10 \cdot 9 \cdot 8} = \frac{3 \cdot 6}{3 \cdot 2 \cdot 10 \cdot 9 \cdot 8} = \frac{3}{20}$

(3) 2等を2本以上引く確率

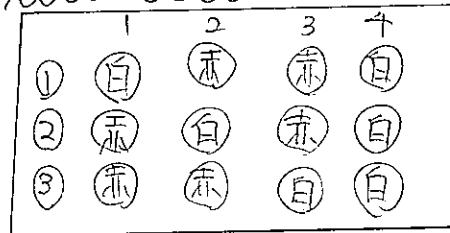
① 2本  $\frac{3 \cdot 6}{10 \cdot 9 \cdot 8} = \frac{21}{120}$   
 ② 3本  $\frac{3}{120}$   
 よって  $\frac{21}{120} + \frac{1}{120} = \frac{22}{120} = \frac{11}{60}$

26 袋の中に赤球7個と白球3個が入っている。取り出した玉は元にもどさずに1個ずつ玉を取り出すとき、次の確率を求めよ。

(1) 3番目に初めて白球が出る確率

赤 → 赤 → 白  
 $\frac{7}{10} \cdot \frac{6}{9} \cdot \frac{3}{8} = \frac{7}{40}$

(2) 4番目に2個目の白球が出る確率



①  $\frac{3}{10} \cdot \frac{7}{9} \cdot \frac{6}{8} \cdot \frac{2}{7} = \frac{1}{20}$   
 ②  $\frac{7}{10} \cdot \frac{3}{9} \cdot \frac{6}{8} \cdot \frac{2}{7} = \frac{1}{20}$   
 ③  $\frac{7}{10} \cdot \frac{6}{9} \cdot \frac{3}{8} \cdot \frac{2}{7} = \frac{1}{20}$   
 よって  $\frac{1}{20} + \frac{1}{20} + \frac{1}{20} = \frac{3}{20}$